



浅野 守彦

受賞は「愛知県内の下水道事業全体」

このたびは、功労賞という栄えある表彰をいただき、身に余る光栄と大変恐縮しております。

私が愛知県職員となった昭和54年当時、愛知県の下水道普及率は先進の名古屋市を除くとわずか9%という低水準でしたが、以降11の流域下水道

や多くの公共下水道が供用開始され、処理区域の拡大が進みました。現在では65%を超えるまでになり、まさに隔世の感があります。

私も工事の設計・監督、単独公共の下法認可申請、予算確保・組織拡充、

炭化炉導入など多くを経験させていただきました。

自宅が下水道区域に編入される際の地区説明会では公共下水道事業のご苦勞の一端に直接触れ、「下水道の主役は市町村」と改めて認識したことは

とりわけ強く印象に残っており、今回の受賞も個人というよりは普及拡大にまい進してきた愛知県内の下水道事業全体の苦勞にいただいたものと思っております。

最後に、本格的に到来したマネジメント時代における下水道事業者のご健闘を祈念することも、日本下水道協会におかれては引き続き会員下水道事業へのご支援をお願い申し上げます。ありがとうございました。

(現日本水工設計名古屋支社長)